

事務事業名	生活保護扶助事業		所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	生活福祉G		
	施策名	〈23〉生活困窮者の支援		担当者名	藤井 修治		
	目的・対象	生活困窮者	意図	自立した生活をおくる。			
	基本事業	〈067〉自立に向けた指導支援の充実		予算科目	0:1:15:0:1	0:1:15:0:1	
目的・対象	生活困窮者	意図	生活を立て直し、自立する。			大事業名	生活保護扶助事業
					中事業名	生活保護扶助事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被保護者	「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	被保護者に保護費を支給する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) 被保護世帯の自立の助長等、保護の適正実施に努め、毎月、保護費の額を決定し支給する。	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 保護の適正実施に向けH22年度より就労支援員(嘱託)を任用。 なお、H26年度をピークに保護率は減少傾向にある。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 支給件数	件	1,288	1,187	1,167	1,167
イ 支給金額	千円	220,242	196,444	192,398	259,493
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
生活保護扶助事業:被保護者に支給する扶助費及び施設事務費 生活扶助 44,263千円、住宅扶助 17,072千円、教育扶助 491千円、介護扶助 2,756千円、医療扶助 110,322千円、葬祭扶助 149千円、生業扶助 373千円、施設事務費 16,972千円	国庫支出金	千円	164,685	146,506	144,046	194,611
	県支出金	千円	3,005	662	1,607	2,000
	地方債	千円				
	その他	千円	348	658	82	11
	一般財源	千円	52,204	48,618	46,663	62,871
	事業費計	千円	220,242	196,444	192,398	259,493

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	被保護者に保護費を支給できている。
② 事業実施するうえでの課題	特になし
③ 課題解決に向けた改革改善等	特になし